

放射線科 (治療)

I プログラム名称

慶應義塾大学病院 放射線科 (治療) 初期臨床研修プログラム

II プログラム指導者

慶應義塾大学医学部放射線科学教室 (治療)

教室主任 茂松直之 教授

研修医担当主任 吉田佳代 助教

III 放射線治療科の概要・特徴

がん治療の重要な柱である放射線治療を一手に担っています。対象疾患は全診療科にわたり、がんの初期から末期まですべての段階における幅広い知識が要求されます。また、ハイテク化の恩恵を享受しており、最先端機器によるがん治療の最前線を体感することができます。

IV 到達目標

A. 医師としての基本的価値観

1. 人間性の尊重

がん患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

B. 資質・能力

1. 診療技能と患者ケア

患者の状態に合わせた、最適な治療計画を作成する。

2. チーム医療の実践

放射線治療技師・看護師を含めたチームの各構成員の役割を理解し、連携を図る。

C. 基本的診療業務

1. 一般外来診療

頻度の高い悪性腫瘍について、適切な治療計画を作成できる。

V 研修方略

A. 研修期間

1. 原則として最大4週までとする。

B. 経験すべき疾病

1. 悪性腫瘍全般 (肺癌、胃癌、大腸癌、食道癌、頭頸部癌、前立腺癌、乳癌、悪性リンパ腫、転移性腫瘍など)

VI 到達目標の達成度評価

A. 研修医評価表

上記 I、II に記載の項目に沿って評価する。

B. EPOC2

オンライン臨床教育評価システム EPOC2 (<https://epoc2.umin.ac.jp/epoc2.html>) にて、評価票 I II III の研修医評価、指導医評価、メディカルスタッフ評価を実施する。経験すべき症候/疾病・病態を当診療科にて経験した場合は、病歴要約の提出を確認し、EPOC2 にて承認を行う。2 年間の研修修了時には、評価票 I II III の各評価がレベル 3 に到達するよう指導を行う。